

# 認知症介護をする方への支援

認知症介護をしている家族の中には、本人からの思わぬ言動に戸惑い傷ついたり、誰にも打ち明けられず悩んだりしている方もいます。介護する方にも、心のケアが必要なのです。

## 相談や集いの場

### ■オレンジカフェ

認知症の方や家族、地域の方が悩みや問題を自由に話すことができる集いの場です。

	日程	時間	場所
①	8/24(水)	13:30~15:00	鷺宮公民館
②	9/13(水)	14:00~15:30	栗橋公民館
③	9/21(水)	9:30~11:00	中央公民館
④	9/27(水)	13:30~15:00	あやめ会館

**対象** 市内在住の認知症のある方とその家族、認知症の疑いのある方、認知症サポーターで協力できる方など

**申込み** 不要（直接会場へ）

**問合せ** ①鷺宮地域包括支援センター  
②栗橋地域包括支援センター  
③久喜中央地域包括支援センター（内線3272）  
④菫蒲地域包括支援センター

### ■家族介護講演会

介護が必要な方やその家族が地域で安心して暮らせるように、地域における支援の輪を広げることを目的に、年1回講演会を開催しています。



▲昨年の講演会の様子

詳細は今後の広報でお知らせします。

### ■認知症介護の電話相談（埼玉県の委託を受けて実施）

認知症の人と家族の会（埼玉県支部）  
☎048-814-1210（10時~15時）  
※年末年始、木・日曜日、祝日を除く

## その他の支援

### ①介護マークの配布

認知症の方の介護などは、周囲に介護していることが分かりにくく、誤解されることがあります。介護者であることをさりげなく周囲に知ってもらうことで、介護者の心理的負担の軽減につながります。

**問合せ** 高齢者福祉課地域包括支援係、各総合支所高齢者・介護保険係、各地域包括支援センター、久喜市社会福祉協議会

### ②徘徊高齢者・障がい者探索システム

市が貸与した携帯端末機を身につけた本人が行方不明になったとき、おおよその居場所をお知らせするとともに、家族の要請を受けた緊急対応員が急行し一時保護します。（自己負担あり）

### ③見守りオレンジシールの配布

家に戻れなくなるおそれのある方が外出先で警察に保護された時に、シールの登録番号から本人を特定できるオレンジ色のシールを配布します。

【②③共通】

**問合せ** 高齢者福祉課高齢者福祉係、各総合支所高齢者・介護保険係

このマークを見かけたら、温かく見守ってください。



利用者に聞いた

### オレンジカフェの意義

誰でも気軽に集まれて仲間づくりができる最高の場所。介護をする者同士で話し合いができるので、「つながりを持つ」という意味では必要な場所だと思う。



## 認知症サポーター養成講座

9月21日(水) 10時~11時30分

**場所** 鷺宮総合支所4階407・408会議室

**内容** 認知症について正しく理解し、認知症のある方や家族をあたかく見守る「認知症サポーター」を養成します。

**定員** 35人（申込順）

**申込み** 8月10日(水)から、参加申込書（各地域包括支援センターで配布）を直接または郵送・FAX・電話で、各地域包括支援センターへ。電子申請も可。

**問合せ** 鷺宮地域包括支援センター



# 認知症の方への接し方

## 7 具体的な対応の7つのポイント

- ・まずは見守る
- ・余裕をもって対応する
- ・声をかけるときは1人で
- ・後ろから声をかけない
- ・相手に目線を合わせてやさしい口調で
- ・おだやかに、はっきりとした話し方で
- ・相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

## 3 認知症の方への対応の心得3つの「ない」

- ・驚かせない
- ・急がせない
- ・自尊心を傷つけない



## INTERVIEW

市内唯一

認知症対応型  
通所介護事業所「てまり」  
乾真由美さん



認知症であっても良い人生だとおっしゃってくださるよう、「今」をよく生きるお手伝いをします。ケアで気をつけていることは、利用者各々のペースに合わせてのこと。その楽しいことを、自分のペースでやって良いんだ、と安心されると、自然と馴染みます。

「みんなと一緒に行動は苦手」、「上手にできない」認知症だからこそ、心の中で葛藤していることも表現しづらいです。でも、そのままが良いですよ、あなたのペースで良いですよとじっくり向き合えば、きっと伝わります。私たちは、あきらめない介護をしています。詳細は、てまりホームページをご覧ください。 ※認知症対応型通所介護は、認知症の方を専門としたデイサービスです。可能な限り自宅で自立した生活を送ることができるよう支援します。



### 私たちができること

認知症が進行すると、最近の出来事が思い出せなかったり、同じ話を繰り返すことがあります。聞いてくれる側は、同じ話をされるとイライラしてしまいかもしれませんが、本人も同じです。上手く伝えられないと苛立ったり、不安になります。まずは、認知症について正しく理解し、本人の気持ちに寄り添った対応を心がけましょう。

## 相談・問い合わせ先

久喜中央地域包括支援センター	☎22-1111
久喜東地域包括支援センター	☎23-8845
菫蒲地域包括支援センター	☎85-8131
栗橋地域包括支援センター	☎52-7835
鷺宮地域包括支援センター	☎58-9131